

2021年度 第1四半期 決算説明会

2021年8月3日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

2021年度 第1四半期（4月-6月）実績

為替のプラス影響に加え、主にP&S事業・マシナリー事業が好調に推移し、増収増益（事業セグメント利益・営業利益は、第1四半期の決算として過去最高）

◆ 売上収益 1,740億円/ +30.7%（前年比）

- ✓ P&S事業は、供給制約があるものの、在宅勤務向けの製品本体への需要の強さ、消耗品の堅調な推移に為替のプラス影響も加わり増収
- ✓ マシナリー事業は、主に中国向けの産業機器の好調な推移、工業用マシンでのアパレル向け設備投資需要の回復などにより大幅増収

◆ 事業セグメント利益 262億円/ +203.5%（前年比）

- ✓ コロナ影響を大きく受けた20Q1から全ての事業で増収となったことにより、大幅な増益となる

2021年度 通期業績予想

為替のプラス影響に加え、主に第1四半期でのP&S事業・マシナリー事業を中心とした想定を上回る業績の好調さを受け、今後の見通しを上方修正

2021年度 第1四半期決算

為替のプラス影響に加え、主にP & S 事業、マシナリー事業が好調に推移し、増収増益となりました。事業セグメント利益・営業利益は、第1四半期の決算としては過去最高となりました。

売上収益

前年同期比 30.7%増の**1,740** 億円となりました。

P&S事業は、工場のロックダウン影響による供給制限があり、本体販売台数は全体として減少しましたが、在宅向けの需要の強さは継続し、価格対応を行わず販売ができたことや消耗品の堅調な推移により増収となりました。

マシナリー事業は、主に産業機器の中国での自動車関連向けの好調さや、工業用マシンでのアパレル向け設備投資需要の回復などにより、大幅増収となりました。

事業セグメント利益

前年同期比 203.5%増の**262**億円となりました。

為替のプラス影響に加え、コロナ影響を大きく受けた2020年度の第1四半期からは全ての事業で増収となったことにより、大幅な増益となりました。

2021年度の通期業績予想

為替のプラス影響に加え、主に第1四半期でのP&S事業・マシナリー事業を中心とした想定を上回る業績の好調さを受け、通期業績予想を上方修正します。

2021年度 第1四半期業績

コロナ影響を大きく受けた前年同期から各事業とも業績は大幅に改善
事業セグメント利益・営業利益は、第1四半期決算で過去最高

単位：億円

	20Q1	21Q1	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	1,332	1,740	408	30.7% (+22.7%)
事業セグメント利益	86	262	175	203.5%
事業セグメント利益率	6.5%	15.0%		
その他の収益・費用	6	3	-3	
営業利益	93	265	172	185.7%
営業利益率	7.0%	15.2%		
税引前利益	95	267	173	182.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	66	186	120	181.3%
USD	107.74	110.00		
EUR	118.94	131.78		

© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

それでは業績説明です。

2021年度の第1四半期における売上収益は、
コロナの影響を大きく受けた前年同期比 408億円増となる **1,740億円** となりました。

事業セグメント利益は、175億円増の **262億円**
営業利益は、172億円増の **265億円**となりました。

事業セグメント利益・営業利益ともに第1四半期としては過去最高となり、利益率は15%を上回りました。

親会社当期利益は、120億円増の **186億円** となりました。

2021年度第1四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

		20Q1	21Q1	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	829	991	161
	事業セグメント利益	94	164	70
	営業利益	101	163	62
パーソナル&ホーム	売上収益	109	141	32
	事業セグメント利益	14	31	17
	営業利益	14	31	17
マシナリー	売上収益	150	304	154
	事業セグメント利益	-1	52	53
	営業利益	-4	51	55
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	62	70	8
	事業セグメント利益	-23	-8	15
	営業利益	-23	-3	19
ドミノ	売上収益	154	200	46
	事業セグメント利益	4	21	17
	営業利益	2	21	18
その他	売上収益	28	35	7
	事業セグメント利益	-0	2	2
	営業利益	2	2	-0
合計	売上収益	1,332	1,740	408
	事業セグメント利益	86	262	175
	営業利益	93	265	172

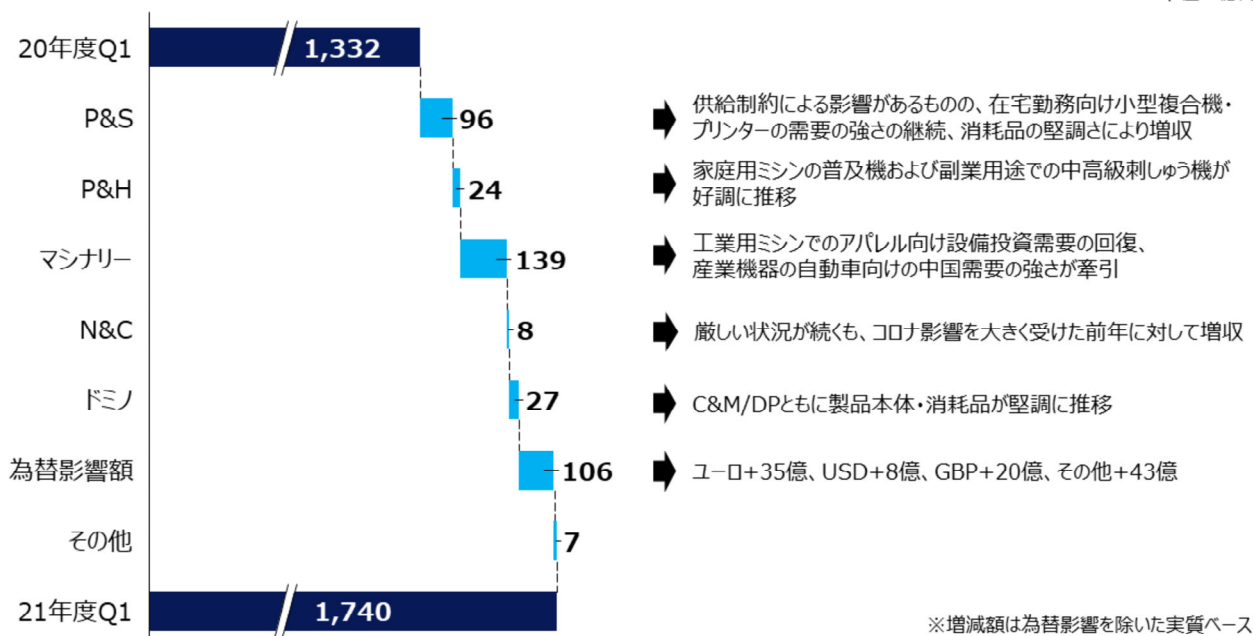
※セグメント間取引消去額は含めておりません。

事業セグメントごとの業績の一覧です。

2021年度第1四半期 売上収益の増減要因

コロナ影響を大きく受けた前年同期から全事業が堅調に推移
為替のプラス影響も加わり、大幅な増収となる

単位：億円



2021年度 第1四半期の売上収益の増減要因です。

ご覧のとおり、全ての事業において増収となっております。

・P&S

供給制約による販売への影響があるものの、在宅勤務向けの小型複合機・プリンターの需要の強さが継続したこと、消耗品がインク・レーザーとともに堅調に推移したことにより増収となりました。

・P&H

家庭用ミシンでの手作り需要の継続による普及機および副業用途での中高級刺しゅう機の販売が引き続き好調に推移したことにより大幅な増収となりました。

・マシナリー

工業用マシンのアパレル向け設備投資需要の回復、産業機器の自動車向けの中国需要の強さが牽引し、大幅な増収となりました。

・N&C

厳しい状況が続きましたが、コロナ影響を大きく受けた前年に対しては増収となりました。

・ドミノ

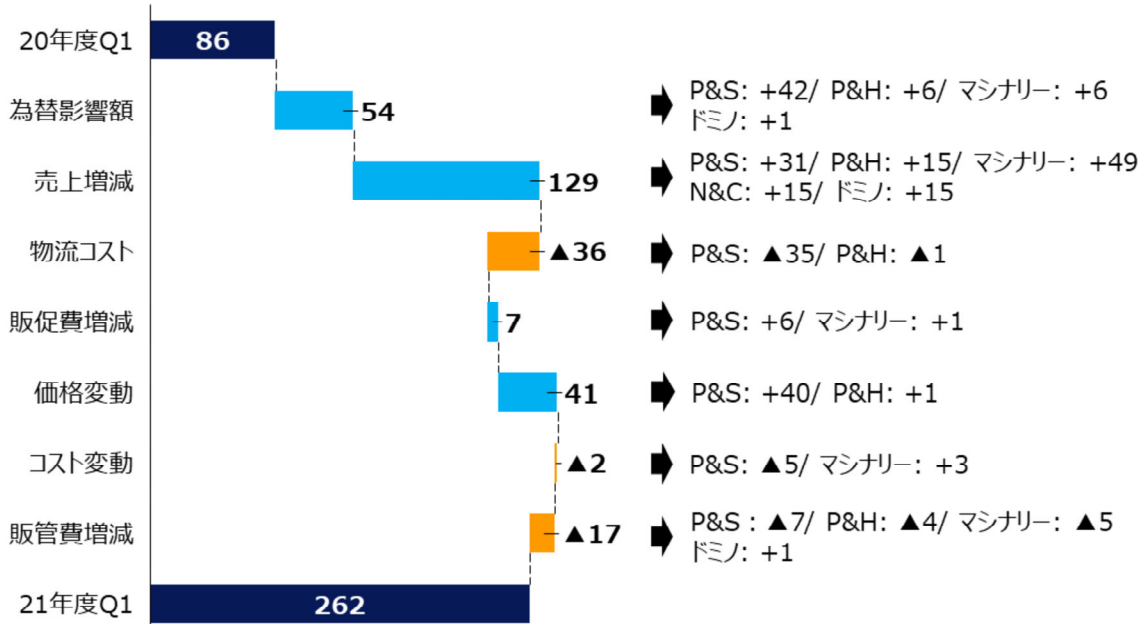
C&M/DPともに、製品・消耗品が堅調に推移し、増収となりました。

為替は円安により106億円プラスとなり、全社では408億円増の **1,740**億円となりました。

2021年度第1四半期 事業セグメント利益の増減要因

マシナリー事業における粗利増やP&S事業の平均単価の上昇に
為替のプラス効果も加わり、大幅増益となる

単位：億円



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

事業セグメント利益の増減要因です。主要な要素についてコメントします。

・為替影響

ほぼP&S事業によるものです。

・売上増減

マシナリー事業・P&S事業を中心に各事業の売上が寄与しました。

・物流コスト（※これまでは売上増減に入っていたものを今回から物流コストとして記載します）

主にP&S事業での物流コスト（海上運賃・航空運賃）が増加しました。

航空輸送は、工場ロックダウンの影響により、消耗品の供給遅延対応を実施したことによるものです。

・価格変動

主にP&S事業によるものです。ミックスの改善により、平均単価があがりました。

これらにより、事業セグメント利益は、175億円増の **262**億円となりました。

2021年度 通期業績予想

為替のプラス影響に加え、主に第1四半期での
P&S事業・マシナリー事業を中心とした業績の好調さを受け、見通しを上方修正

単位：億円

	前回予想	21年度 今回予想	増減	増減率	20年度 実績	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	6,260	6,950	690	11.0%	6,318	632	10.0% (+6.6%)
事業セグメント利益	600	680	80	13.3%	781	-101	-12.9%
事業セグメント利益率	9.6%	9.8%			12.4%		
その他の収益・費用	0	-5	-5		-353	348	
営業利益	600	675	75	12.5%	427	248	58.0%
営業利益率	9.6%	9.7%			6.8%		
税引前利益	595	675	80	13.4%	429	246	57.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	425	460	35	8.2%	245	215	87.6%
USD	103.00	108.81			106.17		
EUR	125.00	127.59			123.73		

通期の業績予想は、
為替を円安方向に見直したことによるプラス影響に加え、
主に第1四半期でのP&S事業・マシナリー事業を中心とした想定を上回る業績の好調さを受け、
5月に公表した通期の業績予想を修正します。

売上収益は、前回予想比 690 億円増となる **6,950**億円

利益は、
事業セグメント利益は、80億円増の **680**億円
営業利益は、75 億円増の **675**億円
親会社当期利益は、35億円増の **460**億円 を見込んでいます。

2021年度通期 事業セグメント別予想

brother
at your side

単位：億円

		前回予想	21年度予想	増減	20年度実績	21年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	3,644	4,110	466	3,848	4,110	262
	事業セグメント利益	435	471	36	652	471	-181
	営業利益	439	489	50	610	489	-121
パーソナル&ホーム	売上収益	460	509	49	537	509	-28
	事業セグメント利益	46	62	16	98	62	-36
	営業利益	47	64	17	96	64	-32
マシナリー	売上収益	912	1,064	152	789	1,064	275
	事業セグメント利益	72	115	43	41	115	74
	営業利益	72	115	43	33	115	82
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	366	335	-31	310	335	25
	事業セグメント利益	0	-17	-17	-52	-17	35
	営業利益	-1	-2	-1	-73	-2	71
ドミノ	売上収益	717	767	50	698	767	69
	事業セグメント利益	40	47	7	48	47	-1
	営業利益	38	43	5	-239	43	282
その他	売上収益	161	165	4	136	165	29
	事業セグメント利益	7	2	-5	-5	2	7
	営業利益	5	-34	-39	2	-34	-36
合計	売上収益	6,260	6,950	690	6,318	6,950	632
	事業セグメント利益	600	680	80	781	680	-101
	営業利益	600	675	75	427	675	248

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

10

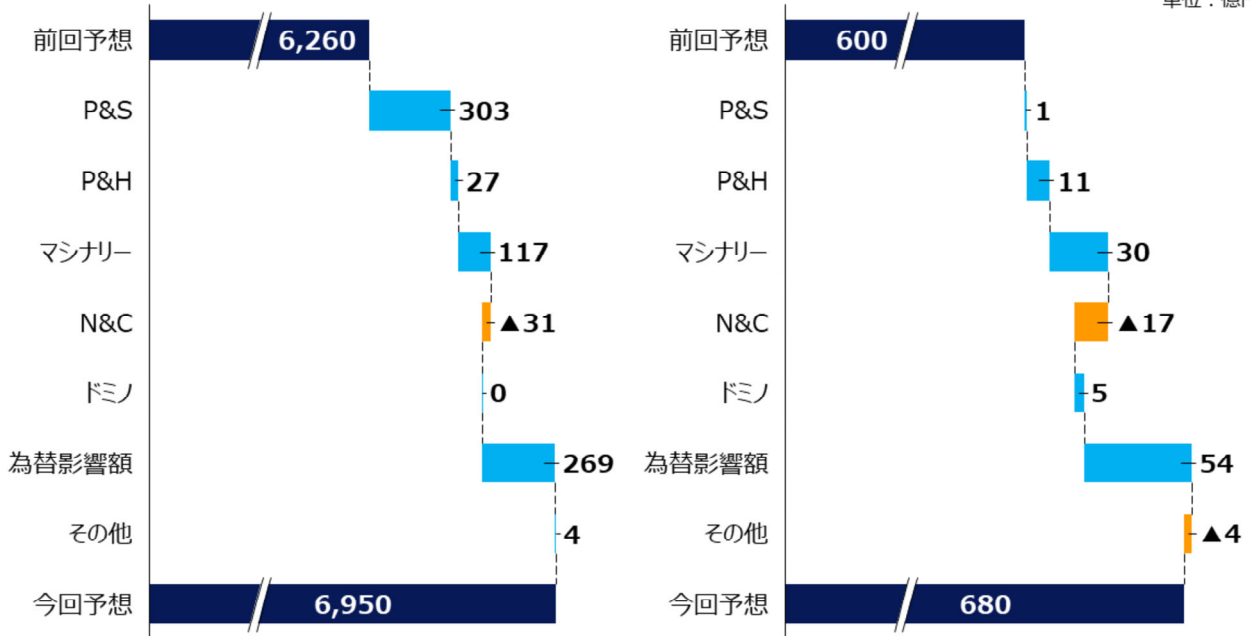
事業セグメントごとの業績予想の一覧です。

2021年度通期 売上収益/事業セグメント利益の増減

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2021年度の売上収益・事業セグメント利益の前回予想からの主な修正要因です。

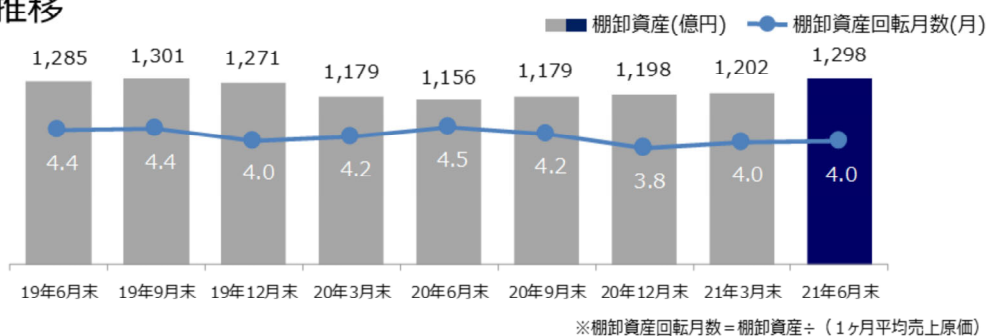
- ・P&S事業については、
第1四半期での業績の好調さおよび通期で想定していたよりも販売数量が増える見込みとなったことから売上を上方修正。利益については各種リスクを織り込み、据え置きとします。
- ・P&H事業、マシナリー事業について、主に第1四半期での業績の好調さを受けて売上・利益ともに上方修正。
- ・N&C事業は、足元でのコロナ再拡大による影響を織り込み下方修正。

これらに為替のプラス影響が加わり、売上、事業セグメント利益とも通期の業績見通しを引き上げます。

単位：億円

	20年度末	21年度 Q1末	増減	
流動資産	4,288	4,435	148	ネット・キャッシュ 20年度末 : +1,335億円 21年度Q1末 : +1,363億円
現預金	1,910	1,938	28	
棚卸資産	1,202	1,298	96	
非流動資産	3,151	3,157	6	株主資本比率 20年度末 : 64.9% 21年度Q1末 : 65.3%
負債合計	2,442	2,471	29	
有利子負債	575	575	0	
株主資本	4,831	4,954	124	
総資産	7,439	7,592	153	

棚卸資産推移

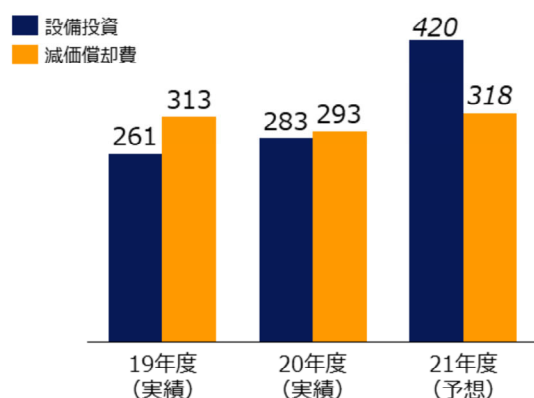


© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

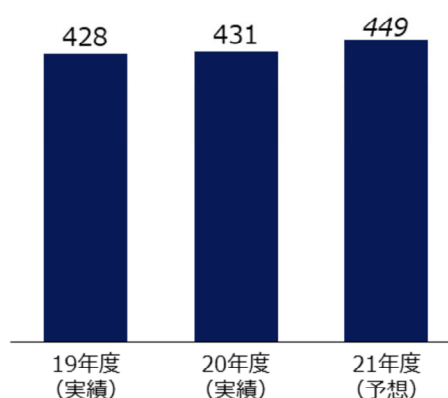
12

ネットキャッシュは、1,363億円となりました。棚卸資産の水準に大きな変化はありません。

設備投資・減価償却費



研究開発費



事業別設備投資内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	109	135	199
P&H	5	10	14
マシナリー	24	30	52
N&C	49	19	28
ドミノ	21	21	34
その他	52	67	93
計	261	283	420

事業別研究開発費内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	277	283	277
P&H	22	20	24
マシナリー	54	51	61
N&C	9	9	11
ドミノ	38	40	44
その他	29	28	33
計	428	431	449

2021年度の設備投資、減価償却費、研究開発費については前回公表時からの変更はありません。

[ご参考]

2021年度の設備投資の主な内容です。

P&S事業

- 新製品の金型投資
- インクジェットヘッド生産を行う星崎工場（愛知県名古屋市）BCP強化のための建て替え費用
- 製品・部品の保管用の新倉庫（愛知県名古屋市）の建設費用

マシナリー事業

- 工業用部品事業の精密歯車製造のための熱処理工場（愛知県安城市）の建設費用

- ・21年度の研究開発費については、マシナリー・FA領域についての新製品開発のための費用の増加を見込んでいます。

セグメント業績概要

プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

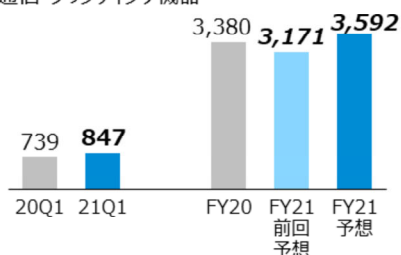


単位：億円

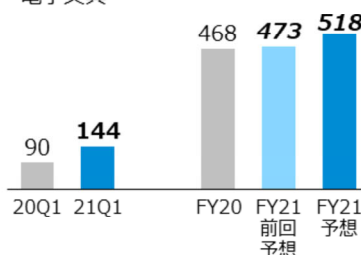
	20Q1	21Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	829	991	19.5%	11.6%	3,848	3,644	4,110	6.8%	3.6%
通信・プリンティング機器	739	847	14.7%	7.1%	3,380	3,171	3,592	6.3%	3.1%
米州	277	291	5.3%	1.2%	1,214	-	1,251	3.1%	0.1%
欧州	231	271	17.3%	5.9%	1,133	-	1,147	1.2%	-1.6%
アジア他	141	183	29.2%	16.3%	622	-	670	7.7%	1.5%
日本	89	102	13.8%	13.8%	410	-	524	27.7%	27.7%
電子文具	90	144	58.7%	48.7%	468	473	518	10.6%	7.0%
米州	40	64	62.3%	57.2%	204	-	225	10.1%	6.9%
欧州	22	43	95.4%	75.7%	142	-	161	13.6%	10.0%
アジア他	16	25	55.9%	39.5%	70	-	82	17.2%	9.4%
日本	13	11	-13.2%	-13.2%	52	-	50	-4.0%	-4.0%
事業セグメント利益	94	164	75.3%	-	652	435	471	-27.7%	-
営業利益	101	163	61.9%	-	610	439	489	-19.8%	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

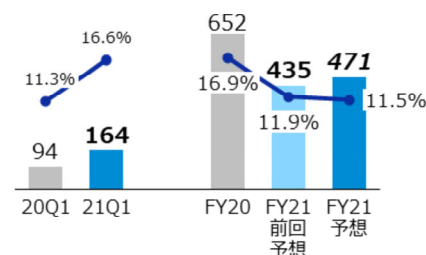


電子文具



<事業セグメント利益>

利益率



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

15

P&S事業の第1四半期の売上収益は 991億円。現地通貨ベースでの伸び率はプラス11.6%の増収となりました。

・ 通信・プリンティング機器

売上収益は**847**億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス7.1%の増収となりました。

インクジェット複合機においては、供給制約の改善により、製品本体の販売数量は大幅に増加しました。

一方で、レーザー複合機・プリンターでは、2020年度第4四半期に工場の操業が一時停止したことによる供給制約が影響し、製品本体の販売数量は大きく落ち込みました。消耗品については供給遅延対策として空輸対応を実施しました。

製品により供給状況に差が出ているものの、在宅勤務向けの製品本体の需要は引き続き強く、消耗品の堅調な推移と為替のプラス影響も加わり、事業全体で増収となりました。

・ 電子文具

売上収益は**144**億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス48.7%の増収となりました。

ラベルライター・ラベルプリンター、モバイルプリンターを中心とするソリューション分野とも、需要回復により、大幅な増収となりました。

事業セグメント利益は、部材・物流コストは増加したものの、為替のプラス影響、消耗品全般の堅調な推移により前年同期比プラス75.3%の**164億円**となりました。

プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	19通期	20通期	21通期
LBP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	19%	18%	18%	-10%	-	-	-	-7%	15%	-3%
消耗品	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	1%	0%	-1%	21%	-	-	-	-2%	-5%	6%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	-6%	-4%	-3%	2%	11%	22%	21%	18%	-16%	-	-	-	-3%	18%	-6%
消耗品	4%	-1%	3%	0%	-15%	2%	2%	-3%	12%	-	-	-	1%	-4%	3%
IJP															
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	-	-	-	-1%	-25%	48%
消耗品	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-	-	-	-2%	-5%	-2%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	1%	13%	-4%	0%	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	-	-	-	2%	-23%	44%
消耗品	3%	3%	-5%	7%	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-	-	-	2%	-5%	-5%
消耗品比率															
	60%	58%	57%	59%	55%	57%	55%	56%	56%	-	-	-	58%	55%	54%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）															
LBP	-13%	-4%	-2%	3%	12%	10%	6%	0%	-28%	-	-	-	-5%	7%	-
IJP	0%	13%	1%	7%	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	-	-	-	5%	-36%	-

© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

16

主要製品の売上伸び率・構成比です。

・売上伸び率（現地通貨ベース）

レーザー（LBP）の売上伸び率は、本体がマイナス16%、消耗品はプラス12%となりました。

2020年度第4四半期に工場の操業が一時停止していたことによる、製品本体の供給制約が影響しています。

インクジェット（IJP）の売上伸び率は、本体がプラス79%、消耗品はプラス5%となりました。

前年同期は供給制約のため売上は大きく落ち込んでいましたが、今年度は供給状況が改善しています。

・販売台数伸び率：

レーザー（LBP）では、製品本体の供給制約が影響し、マイナス28%となりました。

インクジェット（IJP）では、供給状況が改善し、プラス65%となりました。

パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

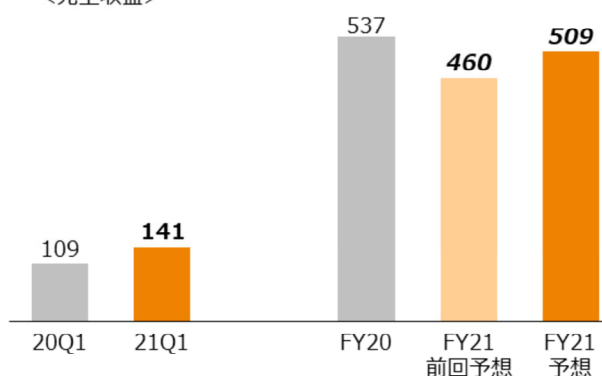


単位：億円

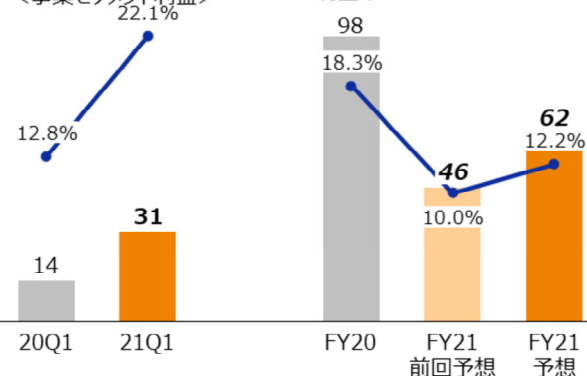
	20Q1	21Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	109	141	29.9%	22.2%	537	460	509	-5.2%	-8.0%
米州	52	72	38.8%	34.4%	273	-	271	-0.8%	-3.4%
欧州	34	47	38.6%	24.5%	160	-	146	-8.8%	-12.1%
アジア他	13	14	6.9%	-3.1%	56	-	56	-0.2%	-5.0%
日本	10	8	-17.0%	-17.0%	48	-	37	-23.8%	-23.8%

事業セグメント利益	14	31	124.7%	-	98	46	62	-36.8%	-
営業利益	14	31	122.1%	-	96	47	64	-33.6%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

17

P&H事業の第1四半期の売上収益は**141**億円、
現地通貨ベースの伸び率では、プラス22.2%の増収となりました。

家庭用ミシンは、自宅で過ごす時間が増えたことによる手作り需要が継続し、普及機を中心に販売が好調であったことに加え、
副業用途での中高級刺しゅうミシンの需要が拡大し、大幅な増収となりました。

事業セグメント利益については、31億円となりました。
主に売上増による効果により、前年同期比プラス124.7%の大幅な増益となりました。

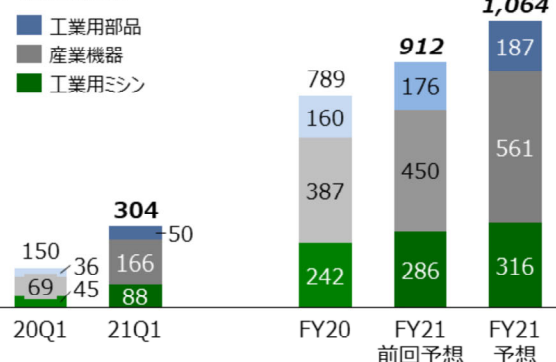
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



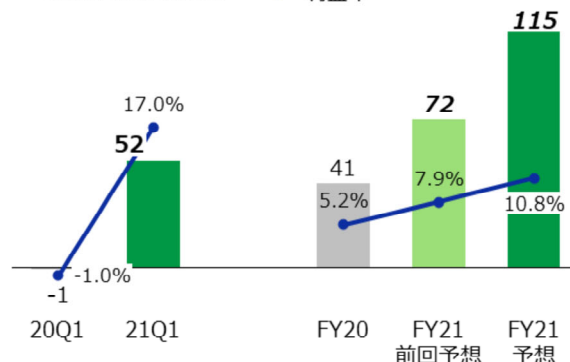
単位：億円

	20Q1	21Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	150	304	102.0%	92.5%	789	912	1,064	34.8%	30.7%
工業用ミシン	45	88	94.9%	84.0%	242	286	316	30.8%	26.3%
産業機器	69	166	140.3%	128.0%	387	450	561	44.9%	39.9%
工業用部品	36	50	38.3%	35.7%	160	176	187	16.5%	15.2%
事業セグメント利益	-1	52	-	-	41	72	115	179.1%	-
営業利益	-4	51	-	-	33	72	115	248.1%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

18

マシナリー事業の第1四半期は、売上、利益ともに好調に推移しました。

第1四半期の売上収益は、マシナリー事業全体で**304**億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、プラス**92.5%**の大幅な増収となりました。

売上収益の内訳は、
工業用ミシンが**88**億円、産業機器が**166**億円、工業用部品が**50**億円となりました。

・工業用ミシン

工業用ミシンセグメントでは、工業用ミシン（ISM）およびガーメントプリンター（GT）の2つの製品カテゴリーを扱っています。
工業用ミシンについては、アジア・中国向けでのアパレル設備投資需要の回復により好調に推移しました。
ガーメントプリンターについても欧米を中心に販売が堅調に推移し、事業全体で大幅な増収となりました。

・産業機器

中国の自動車関連市場向けが好調に推移したことに加え、IT関連顧客向けのスポット受注の効果により、大幅な増収となりました。

・工業用部品

米州・アジアを中心とした需要の回復により、大幅な増収となりました。

利益については、増収の効果により黒字となりました。
事業セグメント利益は、前年同期の1億円の赤字に対して、**52**億円の大幅な増益となりました。

マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

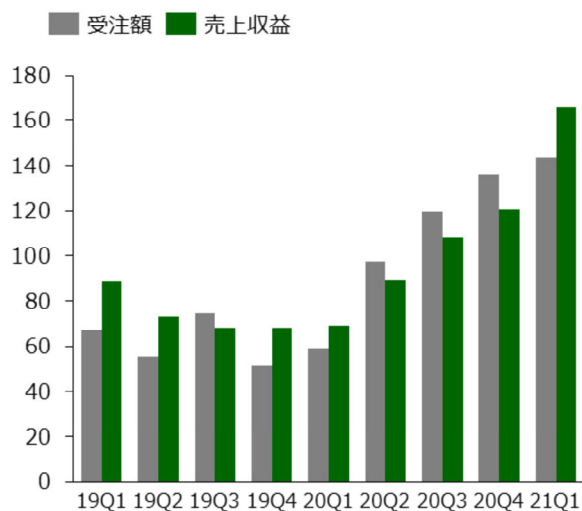
単位：億円

	20Q1	21Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	150	304	102.0%	92.5%	789	912	1,064	34.8%	30.7%
工業用マシン	45	88	94.9%	84.0%	242	286	316	30.8%	26.3%
米州	18	22	21.7%	18.7%	87	-	98	12.6%	9.7%
欧州	11	17	58.7%	43.0%	56	-	73	30.7%	27.4%
アジア他	14	43	206.3%	187.1%	88	-	130	48.6%	41.2%
日本	2	6	152.6%	152.6%	12	-	16	33.0%	33.0%
産業機器	69	166	140.3%	128.0%	387	450	561	44.9%	39.9%
米州	6	9	43.1%	-	20	-	34	69.0%	-
欧州	3	9	177.2%	-	19	-	30	56.2%	-
アジア他	49	125	155.9%	-	289	-	401	38.7%	-
日本	11	23	112.4%	-	59	-	97	63.5%	-
工業用部品	36	50	38.3%	35.7%	160	176	187	16.5%	15.2%
米州	5	8	59.8%	56.2%	21	-	20	-4.4%	-6.9%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	4	7	80.9%	61.8%	20	-	22	15.0%	6.6%
日本	28	35	28.3%	28.3%	120	-	145	20.4%	20.4%

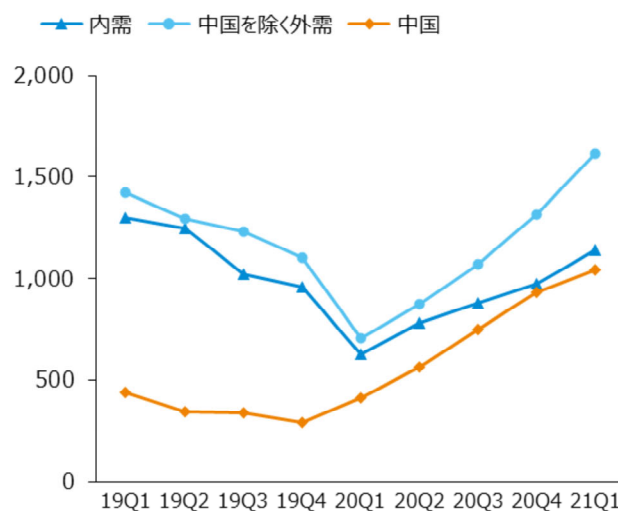
マシナリー事業（産業機器） 受注額の推移

単位：億円

受注額・売上収益の推移



(参考) 日工会受注統計



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

四半期ごとの売上収益と受注額です。

受注額は、国内受注と海外受注を合わせた製品本体受注の合計額です。

2020年度の第2四半期から、中国向けを中心に受注の強い状態が継続しております。

右側のグラフは、日工会の受注統計（参考資料）です。内需・外需とも回復が進んでいます。

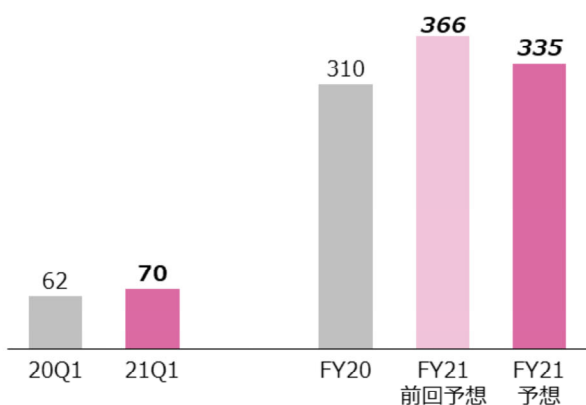
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益



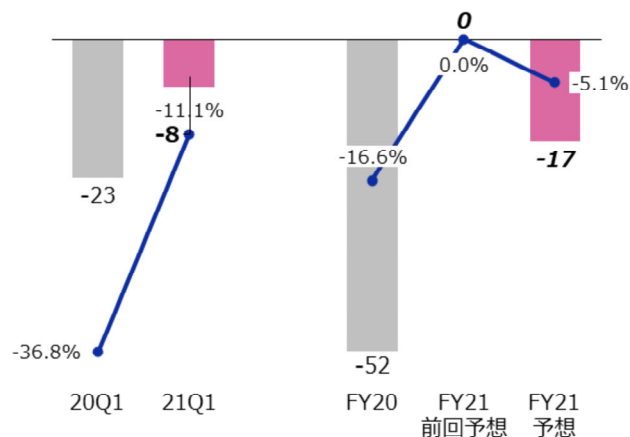
単位：億円

	20Q1	21Q1	増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率
売上収益	62	70	12.9%	310	366	335	7.9%
事業セグメント利益	-23	-8	-	-52	0	-17	-
営業利益	-23	-3	-	-73	-1	-2	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

21

N&C事業は、国内でのコロナ再拡大の影響により、厳しい経営環境が続いていますが、店舗事業、カラオケ事業ともに大きく低迷していた前年に対して売上増となりました。

第1四半期の売上収益は、**70**億円、前年同期比プラス12.9%の増収となりました。

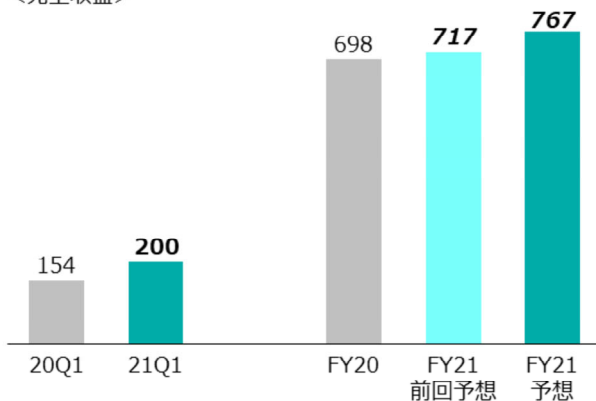
事業セグメント利益については、増収および費用削減の効果により、前年同期の23億円の赤字に対して**8**億円の赤字となり、赤字幅は縮小しました。

営業利益については、前年同期の23億円の赤字に対して、雇用調整助成金（新型コロナ特例）効果もあり、**3**億円の赤字となりました。

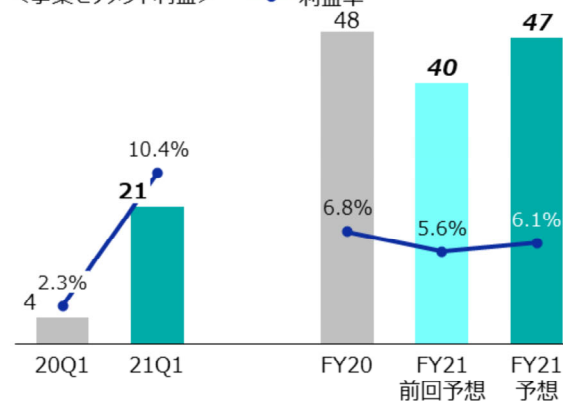
単位：億円

	20Q1	21Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	154	200	29.9%	17.8%	698	717	767	9.9%	3.5%
米州	42	48	14.9%	1.6%	176	-	190	7.7%	2.1%
欧州	68	91	34.5%	21.4%	324	-	358	10.5%	2.8%
アジア他	44	61	36.9%	22.4%	198	-	219	10.8%	6.7%
事業セグメント利益	4	21	477.2%	-	48	40	47	-1.1%	-
営業利益	2	21	785.4%	-	-239	38	43	-	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2021 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

22

ドミノ事業の第1四半期の売上収益は**200**億円、ポンドベースの伸び率は、プラス17.8%の増収となりました。

コロナによるロックダウン影響で2020年度 第1四半期は需要が低調であった欧州も大きく回復しています。

第1四半期の製品本体は、C&Mに加えてDPも市況が回復しつつあり、消耗品についてはC&M/DPともに引き続き堅調に推移しています。

事業セグメント利益については、増収の効果により、コロナ影響で大きく落ち込んでいた前年同期の4億円に対して、**21**億円の大幅な増益となりました。

brother
at your side